

tps 小文字で大作シリーズ
「椅子」

| 日時 | ※「瀕死の王さま」の公演会場は、シアターZOOです。 | | |
|--------|---|---|---|
| 7/7(火) | 19:00(瀕死の王さま) | | |
| 8(水) | 19:00(瀕死の王さま) | 21:30(椅子) 老人:鎌内聡 老婆:林千賀子 弁士:木村洋次 | |
| 9(木) | 18:00(椅子) 老人:鎌内聡 老婆:宮田圭子 弁士:木村洋次 | 19:30(瀕死の王さま) | |
| 10(金) | 19:30(瀕死の王さま) | | |
| 11(土) | 11:30(椅子) 老人:木村洋次 老婆:林千賀子 弁士:鎌内聡 | 15:30(椅子) 老人:鎌内聡 老婆:宮田圭子 弁士:木村洋次 | 17:00(椅子) 老人:木村洋次 老婆:齋藤由衣 弁士:鎌内聡 |
| | 12:00(椅子) 老人:鎌内聡 老婆:宮田圭子 弁士:木村洋次 | 14:00(椅子) 老人:齋藤歩 老婆:宮田圭子 弁士:木村洋次 | 16:30(椅子) 老人:木村洋次 老婆:高子未来 弁士:鎌内聡 |
| | 13(月) | 19:00(瀕死の王さま) | 21:30(椅子) 老人:齋藤歩 老婆:齋藤由衣 弁士:木村洋次 |
| 14(火) | 14:00(瀕死の王さま) | 16:30(椅子) 老人:齋藤歩 老婆:高子未来 弁士:木村洋次 | |

※前場は開演の30分前まで観客受け入れ不可

STAFF
演出助手:宮田圭子 舞台監督:佐藤健一 舞台スタッフ:TPS劇団員 宣伝美術:若林瑞沙 (photo:COFFIN)
ディレクター:齋藤歩 プロデューサー:平田修二 製作:明屋隆子・橋山慶俊 企画製作:北海道演劇財団

主催:北海道演劇財団 NPO法人TPSくらぶ
協賛:北海道文化放送 北海道銀行 北海道テレビ 北海道新聞社 岩本・佐藤法律事務所
ホクレン ファイブフォックス
後援:札幌市、札幌市教育委員会
著作権代理:高アラン・著作権事務所

扇谷記念スタジオ・スタジオ1
2009年7月8日(水)~14日(火)

平日公開中!
<http://www.h-paf.ne.jp/>

平成21年度文化庁芸術振興費形成事業

この「椅子」という作品は「不条理演劇」などと呼ばれ、難解であるかのような印象があるようです。日本国内での上演歴もかなり少ないです。それなのに演劇人の間では「椅子」といえば「ああ、あの木ね」というくらい有名です。多くの演劇人が本は読んでみても、あまり上演しようとは思わならしいのです。

私はずいぶん昔から、「やりてえなあ、やりてえなあ」と思っていました。何度か上演を目指して、企画を試みましたが、いずれも実現には至りませんでした。そして昨年、「夕鶴」「三人姉妹」に続くTPSの若手公演という枠組みを借りた「tps小文字で大作シリーズ」というこじ付けを思いつき、ようやく念願がかなったのです。そうまでしなければこの作品をやらせてくれる劇場・企画者・相手役者は見つからなかったのです。

「悲劇的笑劇」とイヨネスコはこの作品のタイトルに付記しています。こんなに面白いのか!昨年、初めてこの作品に取り組んで見た時、私はすっかり虜になってしまいました。これほどまでに俳優や観客に残酷な作品だったとは、やってみなければわかりませんでした。本を読んでいるだけではわからないことだらけでした。実際に台詞を自分の身体に通して初めて、イヨネスコの悪意が実感できたのです。あの膨大な台詞をただ吐き出し続けているだけで、おかしな領域に自分が持って行かれてしまうのです。繰り返し、続けて上演し続けたい!初日を迎える前から

そう思われていました。

そして今年の「tps小文字で大作シリーズ」に、同じイヨネスコの「瀕死の王さま」を提案させて頂き、上演する運びになったのをいいことに、「椅子」も「瀕死の王さま」の間隙を縫って、普段我々が稽古場として使用しているこの「スタジオ1」を特設劇場に仕立てて、無理やり上演させてもらえることになりました。今年はいヨネスコの生誕100年らしいですし、これもこじ付けですが、断続的に、何回も、繰り返し、しつこく、何かをTPSがZOOで上演している時、あるいはZOOが空いている時、はたまたZOOを使っている劇団が「いいよ、どうぞおやりください」と言ってくれた時など、今後、こちらの特設劇場で何度でも「椅子」をやらせて頂くつもりです。

スタジオにあるコンセントの電気容量でも可能な照明設備を考え、かなり地球に優しい演劇になっております。本当に小さな劇場で、間近に役者を眺めることができます。普段稽古で我々が眺めている距離で芝居をご覧ください。

このようにせつなく特設劇場をこしらえたのですから、今後もこの作品に限らず、小さな作品発表をここで続けて行こうと思っています。

斎藤歩

2009年7月8日~14日

扇谷記念スタジオ・スタジオ1

2009年12月24日~2010年1月1日

扇谷記念スタジオ・スタジオ1

2010年1月15日~17日

東京:シアター711

作:ウジェーヌ・イヨネスコ/翻訳:安藤信也

演出:斎藤歩/演出助手:宮田圭子/舞台監督:佐藤健一/宣伝美術:若林瑞沙

プロデューサー:平田修二/企画製作:北海道演劇財団

出演

斎藤歩、木村洋次、鎌内聡/林千賀子、吉田直子、齋藤由衣、宮田圭子、高子未来

札幌劇場祭 2008 札幌舞台芸術賞受賞記念ツアー 「秋のソナチネ」



TPS (シアタープロジェクトさっぽろ)

秋のソナチネ

「ソナチネで紡ぐ小さな秋の物語」

チユロの上田英順さんと2008年に2本の新作を創りました。そのうちの1本がこの「秋のソナチネ」です。秋から始まりかけて小さなお蕎麦屋さんの家族にこの作品は、北海道で生きて行く事、そして死んで行く事、そんな悲喜交々を、とあるお蕎麦屋さんの奇妙な家族と、その親類の人々のドラマとして描きました。

「ソナチネアルバム」という日本の観客の中心に一つお好きなフレーズがあります。「秋のソナチネ」は今年も人気を博していますが、ソナチネで観客の方を巻き込んでくれるものが多く、「ソナチネ」ほど大衆的でなく、やさしく身近な感じのする「ソナチネ」が北海道の秋の風情にはぴったりのと思います。「ソナチネアルバム」の中から数曲、チユロ君は編み直し、新たなソナチネのソナチネを創り、生演劇を今宵までお届けします。

お蕎麦屋さんですから、もちろん舞台上で蕎麦を打たれます。蕎麦粉を振り、水返し、捏ね、押し、そして打って行きます。大変な作業ですが、観客さんといっしょに打つ際の音の響き、一人の役者が横占席でそば打ちを全うしました。打ち立てのお蕎麦はやっぱり美味しいですから、その蕎麦を各自で食卓に運んで、おいしく食べて頂くのです。北海道は蕎麦の産地です。今回は公演期間が短いため、蕎麦差しというわけには行きませんが、生演劇と打ち立てのお蕎麦で、北海道の秋の風情を一通りお楽しみ下さい。

作・演出・音楽・音響 齋藤歩

【キャスト】
木村洋次 岡本朋謙 佐藤健一
林千賀子 高子未来 稲垣佳澄
土田英順 (チユロ)

STAFF
照明 矢口友理 (スタジオアソビ)
音響 百瀬俊介 (NPO)
演出助手 宮田圭子
監修 尾崎要 (アソビ)
宣伝美術 若林瑞沙 (NPO)
制作 阿部雅子、横山勝俊
チユロ・チユロ・チユロ
チユロ・チユロ・チユロ

【演劇】
演劇 齋藤歩 (チユロ)
チユロ・チユロ・チユロ
チユロ・チユロ・チユロ
チユロ・チユロ・チユロ

【ご予約・お問い合わせ】
北海道演劇財団 TEL: 011-520-0710
サンピエザ劇場 TEL: 011-890-3438

砂川公演
日時 7月29日(水) 19:00開演
会場 砂川市地域交流センターゆう 大ホール
TEL: 0125-54-3111

札幌公演
日時 7月31日(金) 19:00開演
会場 サンピエザ劇場
TEL: 011-890-3438

【ご予約・お問い合わせ】
交流センターゆう TEL: 0125-54-3111
http://www.you-sungawa.com

【ご予約・お問い合わせ】
北海道演劇財団 TEL: 011-520-0710
サンピエザ劇場 TEL: 011-890-3438

安く、確実に観劇できます
「サンピエザ劇場で芝居を観る会」
会場にはサンピエザ劇場の公演の観劇券が販売されています。

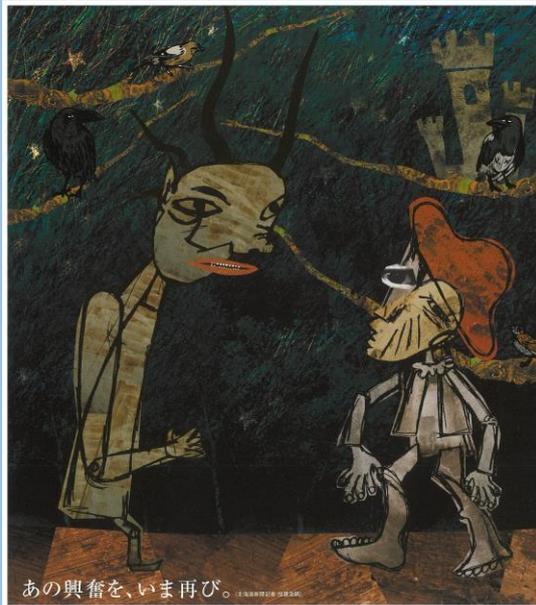
【アートプロデュース・トライアル】
企画を募集します。砂川市地域交流センターゆうの企画に芸術プロデュース・トライアルにチャレンジしてみませんか？
夢が実現し、観客へつながるアートプロデュース
申し込み期間 2009年7月15日～8月15日
NPO法人ゆう ☎0125-54-3111
E-mail: contact@you-sungawa.com

2009年7月29日～8月5日
砂川・新さっぽろ・紋別・斜里

作・演出・音楽：齋藤歩
照明：矢口友理／音響：百瀬俊介／演出助手：宮田圭子／舞台監督：尾崎要
宣伝美術：若林瑞沙／制作：阿部雅子、横山勝俊
蕎麦打ち指導：磯田憲一

出演
木村洋次、岡本朋謙、佐藤健一、林千賀子、高子未来、稲垣佳澄、土田英順（チユロ）

音楽野外劇 TPS公演 「美男ペコパンと悪魔」



あの興奮を、いま再び。

TPS公演
美男ペコパンと悪魔

原作/ヴィクトル・ユゴー 構成・演出/斎藤 歩

2009.9/6 SUN 14:00開演(13:30開場) 札幌芸術の森 調整池

TPS公演
美男ペコパンと悪魔

原作/ヴィクトル・ユゴー 構成・演出/斎藤 歩

2009.9/6[日] 14:00開演(13:30開場)

CAST 木村洋次 岡本朋謙 佐藤健一 鎌内聡 宮田圭子 林千賀子 高子未来 齋藤由衣

会場/札幌芸術の森 調整池
札幌市中央区南一条西五丁目

《料金》前売(当日公演) 全席自由席 1席
○一般(2,000円) ○学生(1,500円)
《チケット取り扱い》北海道演劇財団 011-520-0710



《料金》前売(当日公演) 全席自由席 1席
○一般(2,000円) ○学生(1,500円)
《チケット取り扱い》北海道演劇財団 011-520-0710

《注意事項》
当日公演(当日公演)は入場券はございません。お申し込みは前売券のみです。
前売券は当日公演(当日公演)は入場券はございません。お申し込みは前売券のみです。
前売券は当日公演(当日公演)は入場券はございません。お申し込みは前売券のみです。
前売券は当日公演(当日公演)は入場券はございません。お申し込みは前売券のみです。

STAFF 演出監 宮田圭子 舞台監督 岡本朋謙 舞台スタッフ TPS 劇団員
ディレクター 齋藤 歩 プロデューサー 阿部 雅子 演出 齋藤 歩
主催 北海道演劇財団(011-520-0710) 北海道演劇財団(011-520-0710)
協賛 北海道文化振興会 北海道文化振興会(011-520-0710)
協力 札幌市文化振興会 札幌市文化振興会(011-520-0710)

斎藤 歩

2009年の公演後もその成功の波が押し寄せ、札幌演劇界に大きな影響を与えた。この成功の波が押し寄せ、札幌演劇界に大きな影響を与えた。この成功の波が押し寄せ、札幌演劇界に大きな影響を与えた。

【KUSHIDA WORKING in 北海道】一年目のシアターキャンプ、あの興奮を、いま再び。

お問い合わせ 北海道演劇財団 札幌市中央区南一条西五丁目 TEL:011-520-0710 FAX:011-520-0712
E-mail: office@tps-net.jp HP: http://www.tps-net.jp/

2009年9月6日(1回)
札幌芸術の森 調整池

原作: ヴィクトル・ユゴー
構成・演出: 斎藤 歩

演出助手: 宮田圭子
舞台監督: 岡本朋謙
宣伝美術: 若林瑞沙
制作: 阿部雅子、横山勝俊
プロデューサー: 平田修二

出演
木村洋次、岡本朋謙、佐藤健一、鎌内聡、宮田圭子、林千賀子、高子未来、齋藤由衣、須貝美佳

企画製作: 北海道演劇財団
主催: 北海道演劇財団・NPO 法人 TPS くらぶ・札幌市芸術文化財団

TPS+青羽提携公演
「蟹と無言歌」



ソウル演劇祭に参加したTPS(札幌劇場)と札幌劇場祭に参加した青羽(ソウル演劇祭)の7大賞受賞が、一緒に芝居を創つてみます。

TPS team
脚本 斎藤歩 演出 キム・カンボ
木村洋次 岡本朋謙 佐藤健一 宮田圭子 高子未来

Cast
イ・ホンジェ
木村洋次 岡本朋謙 佐藤健一 宮田圭子 高子未来

会場/シアターZOO
TEL 011-551-0909

| | |
|-----------|----------------|
| 11/22 (日) | 15:00 |
| 23 (祝) | 13:00 / 17:00* |
| 24 (祝) | 19:00 |
| 25 (祝) | 19:00 |
| 26 (日) | 14:00* / 19:30 |

料金(全席自由席) ●一般 3,000円 ●学生 2,500円 ●高齢者以下 2,000円

チケット取り扱い ●札幌市立劇場 011-220-3800 ●札幌市立劇場 011-220-3800 ●札幌市立劇場 011-220-3800

札幌市立劇場 TEL 011-220-3800

北広島演劇祭
TEL 011-520-0730

ソウル演劇祭
TEL 02-260-0000

TPS+劇団青羽 交流の軌跡
2007年
2008年
2009年

全公演スケジュール
【札幌公演】11/22(日)~26(木)
【札幌公演】11/29(日)
【札幌公演】12/3(火)
【札幌公演】12/5(木)

斎藤歩

蟹と無言歌

作：斎藤歩／演出：キム・カンボ
照明プラン：熊倉英記／照明オペレーター：矢口友理／音響：百瀬俊介／舞台監督：尾崎要
宣伝美術：若林瑞沙／プロデューサー：平田修二・木村典子

2009年11月26日~12月3日
札幌(シアターZOO)・清田区民センター・旭川(シアターコア)・釧路(市民文化会館)・岩見沢(まなみーる)

出演者
木村洋次、岡本朋謙、佐藤健一、宮田圭子、高子未来・イ・ホンジェ、キム・エリ

